



## ファームウェアの管理

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco IMC ファームウェア, 1 ページ](#)
- [ファームウェア コンポーネントの表示, 2 ページ](#)
- [ファームウェアの更新, 3 ページ](#)
- [ファームウェアのアクティブ化, 5 ページ](#)

## Cisco IMC ファームウェア

Web UI の単一ページから次のファームウェア コンポーネントを管理できます。

- アダプタ ファームウェア：アクティブなイメージとバックアップ イメージで構成されている主要なオペレーティングファームウェアで、次のような異なるインターフェイスからインストールできます。
  - ホスト アップグレード ユーティリティ (HUU)
  - Web UI：ローカルおよびリモートのプロトコル
  - PMCLI：リモート プロトコル
  - XML API：リモート プロトコル

ファームウェア イメージをローカル ファイル システムまたは TFTP サーバからアップロードできます。

- ブートローダ ファームウェア：ブートローダ ファームウェアは、Cisco IMC からインストールできません。このファームウェアは、Host Upgrade Utility を使用してインストールできます。

次の個々のコンポーネントのファームウェアを更新できます。

- BMC

- BIOS
- CMC
- SAS エクスパンダ
- アダプタ

ハードディスクドライブ (HDD) のファームウェアは、上述のアダプタ ファームウェアと同じインターフェイスからインストールすることもできます。

## ファームウェア コンポーネントの表示

### 手順

- ステップ 1** [管理者 (Admin) ] メニューの [ファームウェア管理 (Firmware Management) ] をクリックします。
- ステップ 2** [全般 (General) ] タブの [ファームウェア管理 (Firmware Management) ] 領域で、次の情報を確認します。

[名前 (Name) ]	説明
[更新 (Update) ] ボタン	ダイアログボックスが開き、ローカルマシンまたはリモートサーバで利用可能なファームウェアイメージファイルをインストールできます。
[アクティブ化 (Activate) ] ボタン	ダイアログボックスが開き、サーバでアクティブにする使用可能なファームウェアバージョンを選択できます。  <b>重要</b> ファームウェアまたは BIOS のアップデートが進行中の場合は、それらのタスクが完了するまで新しいファームウェアをアクティブにしないでください。
[コンポーネント (Component) ] 列	ファームウェアを更新できる使用可能なコンポーネントのリスト。
[稼働バージョン (Running Version) ] カラム	現在有効なコンポーネントのファームウェアバージョン。

[名前 (Name) ]	説明
[バックアップバージョン (Backup Version) ] カラム	サーバにインストールされている別のファームウェア バージョン (存在する場合)。バックアップバージョンは現在動作していません。これをアクティブにするには、[アクティブ化 (Activate) ] をクリックします。  (注) 新しいファームウェアをインストールすると、既存のバックアップバージョンはすべて削除され、新しいファームウェアがバックアップ バージョンになります。サーバで新しいバージョンを実行するには、新しいファームウェアを手動でアクティブにする必要があります。
[ブートローダーのバージョン (Bootloader Version) ] カラム	コンポーネントのブートローダソフトウェアに関連付けられているブートローダバージョン。
[ステータス (Status) ] カラム	このサーバのファームウェアのアクティブ化のステータス。
[進行状況 % (Progress in %) ] カラム	操作の進行状況のパーセンテージ。

## ファームウェアの更新

[ファームウェア管理 (Firmware Management) ] 領域から選択したコンポーネントに応じて、ローカルディスクまたはリモートサーバからファームウェア パッケージをインストールできます。インストールを確認した後、BMC によってコンポーネントのバックアップ メモリ スロット内のファームウェア バージョンが選択したバージョンに置き換えられます。

### 手順

- ステップ 1** [管理者 (Admin) ] メニューの [ファームウェア管理 (Firmware Management) ] をクリックします。
- ステップ 2** [ファームウェア管理 (Firmware Management) ] 領域で、[コンポーネント (Component) ] カラムからコンポーネントを選択し、[更新 (Update) ] をクリックします。  
[ファームウェアの更新 (Update Firmware) ] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 3** ダイアログボックスで次の情報を確認します。

[名前 (Name) ]	説明
[ブラウザ クライアントによるファームウェアのインストール (Install Firmware through Browser Client) ] オプション ボタン	ファームウェア パッケージがローカル マシンに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。
[リモート サーバによるファームウェアのインストール (Install Firmware through Remote Server) ] オプション ボタン	ファームウェア パッケージがリモート サーバに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。

**ステップ 4** ブラウザ クライアントを介してファームウェアをインストールするには、[参照 (Browse) ] をクリックし、インストールするファームウェア ファイルに移動します。

**ステップ 5** ファイルを選択してから、[ファームウェアのインストール (Install Firmware) ] をクリックします。

**ステップ 6** リモート サーバを使用してファームウェアを更新するには、[ファームウェアのインストール元 (Install Firmware from) ] ドロップダウン リストからリモート サーバのタイプを選択します。次のいずれかを選択できます。

- TFTP
- FTP
- SFTP
- SCP
- HTTP

**ステップ 7** 選択するリモート サーバのタイプに応じて、サーバの [IP/ホスト名 (IP/Hostname) ] フィールドと [イメージ パスとファイル名 (Image Path and Filename) ] フィールドに詳細を入力します。ファームウェアをインストールすると、新しいイメージが非アクティブなイメージと置き換わります。イメージのインストール後、イメージをアクティブ化ができます。

**重要** サーバのタイプが FTP、SFTP、または SCP の場合は、ユーザ クレデンシャルを入力する必要があります。

**ステップ 8** [ファームウェアのインストール (Install Firmware) ] をクリックして、ダウンロードとインストールを開始します。

# ファームウェアのアクティブ化

## 手順

- 
- ステップ 1** [管理者 (Admin) ] メニューの [ファームウェア管理 (Firmware Management) ] をクリックします。
- ステップ 2** [ファームウェア管理 (Firmware Management) ] 領域で、[コンポーネント (Component) ] カラムからコンポーネントを選択し、[アクティブ化 (Activate) ] をクリックします。  
[ファームウェアの有効化 (Activate Firmware) ] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 3** [ファームウェアのアクティブ化 (Activate Firmware) ] ダイアログボックスで、アクティブにするファームウェアイメージ (オプションボタン) を選択します。このイメージが稼動バージョンになります。
- ステップ 4** [ファームウェアの有効化 (Activate Firmware) ] をクリックします。  
選択したファームウェア イメージに応じて、アクティブ化のプロセスが開始されます。

**重要** アクティベーションの進行中には、次のことは行わないでください。

- サーバのリセット、電源オフ、またはシャットダウン。
  - BMC のリブートまたはリセット
  - 他のファームウェアのアクティブ化。
  - テクニカル サポートまたは設定データのエクスポート。
-

